

## 久喜市いちょうの木 事業報告

令和2年度事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

### 1 実施事業

#### (1) 定員と現員

令和3年3月31日現在

事業名	定員	現員
生活介護	定員40名	現員39名（男性26名、女性13名）

#### (2) 利用者の状況

##### ア 年齢構成

区分	～19	20～24	25～29	30～39	40～49	50～59	60～	平均
男	0	0	1	12	7	4	2	43.0歳
女	0	0	0	5	5	3	0	39.6歳
計	0	0	1	17	12	7	2	41.3歳
%	0	0	2.6	43.6	30.8	17.9	5.1	100

##### イ 障害支援区分

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男	0	9	5	12	26	5.1
女	0	3	4	6	13	5.2
計	0	12	9	18	39	5.2
%	0	30.8	23.1	46.1	100	

##### ウ 療育手帳・身体障害者手帳の所持状況

区分	療育手帳						身体障害者手帳						
	㊤	A	B	C	なし	計	1級	2級	3級	4級	5級	なし	計
男	19	7	0	0	0	26	2	3	0	0	0	0	5
女	10	2	1	0	0	13	3	1	0	1	0	0	5
計	29	9	1	0	0	39	5	4	0	1	0	0	10
%	74.4	23.0	2.6	0	0	100	50.0	40.0	0	10.0	0	0	100

#### (3) 職員体制

職種	配置人数	備考
施設長	1	サービス管理責任者兼務
主査支援員	1	相談支援専門員兼任
主任支援員	1	相談支援専門員兼任
生活支援員	15	常勤13名 非常勤2名
看護師	1	法人内他事業所兼務
栄養士	1	法人内他事業所兼務
事務員	1	
運転員	2	
計	23	

## 2 重点実施事項

### (1) 重度障害者支援加算の取得

重度障害者支援加算対象となる利用者 20 名全員（7 月より対象者 1 名が退所となったため、8 月以降は 19 名）の加算を取得し大幅な収入増を図ることができました。また、加算要件である強度行動障害者支援者研修に参加したことで行動障害を有する人への理解と適切な対応方法を学ぶことができて支援の質の向上にもつながりました。

### (2) 利用者の社会参加

表現活動の一環として取り組んだ利用者の絵画作品が「埼玉県障害者アート展覧会」と「埼玉県障害者絵画展」に選ばれ、それぞれの会場で展示されました。また、作品販売においては、ターゲットとする客層とそれにマッチする販売店を検討して市内の農産直売所に作品を陳列させてもらい販売しました。大変好評で作業収入額が昨年度の約 1.8 倍増となりました。その他、区内の回覧板等で商品案内をして地域の方に広く認知してもらうようにして活動を通じた社会活動の参加ができました。

### (3) ボランティア活動の充実

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の観点から、ボランティアの受け入れは自粛したため実現できませんでした。

## 3 事業報告

### (1) 利用者支援

#### ア 支援方針

本人の尊厳を尊重することを心掛けながら、状態像のアセスメント結果に基づいて過不足のない取り組みを行いました。

#### イ サービスの提供

新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動場面で制限せざるを得ない状況になりました。とりわけ、外出を伴う行事や人が密集しやすくなる交流行事等は中止または感染対策を十分に行ったうえで縮小、代替をして実施しました。食事や排泄等の日常生活支援は感染対策としてマスク、フェイスシールド、手袋等を着用して支援を行いました。作業活動では人数の分散やアクリル板の設置、ソーシャルディスタンスの確保を行って活動に取り組みました。今年度の作業活動による収入は以下のとおりです。制約が多くありましたが、知恵と工夫を出し合って取り組んだ結果、収入額は昨年度の約 1.8 倍増となりました。

#### <作業活動収入>

支給日	4月10日	8月7日	12月10日	年間合計
支給額	246,384円	305,887円	335,274円	887,545円
平均支給額	6,318円	7,461円	8,597円	7,458円
最高支給額	7,104円	7,954円	8,991円	8,016円
最低支給額	4,704円	4,947円	6,438円	5,363円

※昨年度年間支給額 491,433円 昨年度比：+396,112円

## ウ 虐待防止対策

埼玉県障害者虐待に関する報告書を参考に事例を取り上げて内部研修を行いました。また、虐待防止チェックリストを活用し、個人の課題や事業所としての課題について職員間で共有課題解決のための意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から外部研修への参加は行いませんでした。

## (2) 働きやすい職場づくり

### ア 業務の改善

雇用形態に応じた業務量と責任度合いの見直しを行いました。(担当利用者や行事、係等の役割に差分) また、障害の特性別の活動班からニーズ別の活動班に再編成したことで職員の介護負担度の偏りがなくなり改善されました。

### イ 労働災害の防止

リスクチェック表を活用し、担当者が定期的に点検。危険個所の早期発見に努め、改善を講じました。介護備品等の整備については、感染症対策に関する備品を整備して業務中の感染等の疾病対策を徹底して行いました。

### ウ 健康維持・向上

ストレスチェック表を実施した結果、昨年度と比べると仕事の負担量のストレスが減少傾向にありました。活動班の再編成に依った業務の偏りの減少とグループ会議が充実したことによる合意形成の機会が増えたことで不安要素が取り除けてきていることが要因として考えられます。

### エ 年次有給休暇の取得促進

1人平均14日の取得ができました。昨年度よりも1人平均3日多く取得できました。

## (3) 人材育成

### ア OJTの強化

研修名	主催	期日	参加者
法人内部研修 「労務管理者研修」	啓和会	令和2年4月27日	中村秀樹
事業所内部研修 「感覚障害の理解について」	久喜市いちょうの木	令和2年9月30日	常勤職員 16名
事業所名部研修 「障害者虐待防止法について」	久喜市いちょうの木	令和2年10月28日	常勤職員 16名
法人内部研修 「意思決定支援ってなんだろう」	啓和会	令和2年11月25日	常勤職員 17名
法人内部研修 「報酬単価と事業運営について」	啓和会	令和2年12月3日	多田 進、 川崎 由衣
事業所内部研修 「感染症の基礎知識について」	久喜市いちょうの木	令和3年1月28日	常勤職員 16名

### イ OFF-JTの積極的な参加

研修名	期日	参加者
-----	----	-----

埼玉県主催「商品開発セミナー」	令和2年6月18日	菅原 由華
埼玉県主催「作品の効果的な展示について」	令和2年10月15日	菅原 由華
久喜市主催「福祉避難所開設訓練」	令和2年11月2日	早川 直樹
埼玉県発達障害福祉協会主催「風水害対策について」	令和2年11月6日	早川 直樹
埼玉県発達障害福祉協会「緊急施設長会議（コロナ関係）」	令和3年1月26日	中村 秀樹
埼玉県発達障害福祉協会「緊急施設長会議（報酬改定）」	令和3年3月24日	中村 秀樹

#### ウ 職務点検活動の取り組み

職務点検活動シートや目標管理シートを活用し年2回の職員面接を行いました。中間面接では個人の課題と事業所としての課題を抽出し、年度末の面接で取り組みの自己評価と達成度についての認識を共有しました。また、施設長との面接の他に主任、主査との面接も実施したことでより具体的な取り組みに繋がりました。

### (4) リスク管理

#### ア 避難訓練の実施

震災を想定した訓練と火災を想定した訓練を消防署立ち合いのもとで実施しました。密にならないように数か所の避難経路を設定したり、避難場所も人数と場所を分散して行いました。消化訓練には利用者にも参加してもらい、防災意識の向上につながりました。また、毎年実施している地元73区の自主防災組織による合同防災訓練は感染予防対策の観点から中止となりました。

#### イ 建物、設備等の老朽化への対応

久喜市と協議し老朽化した空調設備の新規設置と保存食用の冷凍庫を整備しました。また、業者による全館のワックス清掃や館内消毒を実施して衛生面等の維持を行いました。

#### ウ 防火体制の見直し

73区の自主防災組織との合同防災訓練は実施できませんでしたが、オンラインを活用した防災研修等に参加し、事業所の防災計画の見直しの参考としました。

#### エ 機能低下に対応するための医療と専門施設との連携

作業療法士による訪問指導を年2回で計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で訪問が難しかったため、実施できませんでした。また、3年前から支援の在り方等で相談及び連携している県内の重度心身障害者施設とも以前のように連携を図るのが難しい状況でした。

### (5) 地域交流

#### ア 地域交流行事への参加

毎年恒例となっている地域との交流行事は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施できませんでした。予定した主な行事は以下の通りです。

清久さくらまつり（自主製品販売）

人権の集い（作品展示 ※久喜地区、鷺宮地区、菖蒲地区）

いちょうの木まつり（自主製品販売、模擬店、バザー、ステージ発表等）

- ホットハートフェスティバル（自主製品販売）
- 清久コミュニティ協議会（年4回 ※地区の除草、防災訓練）
- 73区自主防災協議会（合同防災訓練、区民まつり）

イ 広報誌の年3回の発行

年4回、発行。関係各所に配布、設置し活動の様子等について広く周知してもらおうようにしました。

ウ 見学者・実習生・ボランティアの積極的な受入れ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により感染予防対策の観点から、見学者及びボランティアの受入れは行いませんでした。実習生の受入れにあたっては学校側と協議し実習時間の短縮等の対策を図ったうえで以下の受入れを行いました。

〈実習生の受入れ〉

学校等所属	内容	期 間	人数
平成国際大学	介護等体験実習	令和2年8月17日～令和2年8月21日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和2年8月31日～令和2年9月4日	1名
平成国際大学	介護等体験実習	令和2年9月7日～令和2年9月11日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和2年9月14日～令和2年9月18日	1名
文教大学	介護等体験実習	令和2年9月21日～令和2年9月25日	1名
立正大学	介護等体験実習	令和2年10月5日～令和2年10月9日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和2年10月12日～令和2年10月16日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和2年10月26日～令和2年10月30日	1名
東萌短期大学	保育実習	令和2年11月4日～令和2年11月17日	1名
平成国際大学	介護等体験実習	令和2年11月9日～令和2年11月13日	1名
埼玉福祉専門学校	保育実習	令和2年11月16日～令和2年11月30日	1名
久喜看護専門学校	看護実習	令和2年12月14日～令和2年12月18日	1名
延べ 12校		延べ日数 74日	12名

エ 清久コミュニティ協議会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響で協議会自体の活動が控えられていたため参加はできませんでした。

(6) 事業運営

ア 利用率の向上

※昨年度比：+3.1%

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	19	22	22	20	21	23	20	21	18	19	23	250
延利用人数	862	754	886	834	741	785	856	719	723	661	708	884	9,413
利用率 %	98.0	99.2	100.7	94.8	92.6	93.5	93.0	89.9	86.1	91.8	93.2	96.1	94.1

イ 土曜開所の実施

※昨年度比：-15人

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	24	29	0	23	0	26	26	25	35	32	26	0	246

ウ 夏季期間中の開所

8月13日～8月14日 延べ利用者数63名

エ 久喜市日中一時支援事業

※昨年度比：-2人

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	1	2	2	1	0	1	5	6	5	0	0	0	23

(7) その他

ア 送迎サービスの実施

公用車 3 台、5 ルートで対応しました。利用された人は 30 名です。感染予防の対策として走行中の換気や乗降時の手指の消毒、添乗職員のマスクとフェイスシールドの着用、降車後の消毒の徹底を行いました。

イ 希望するサービスの把握

2 月にサービス要望書を配布し「運営全般に関すること」と「支援全般に関すること」についての聞き取りを行いました。38 名のご家族に配布し 29 名からの回答を頂きました。これまでは「健康管理に関すること」と「ADL の維持、向上に関すること」がほとんどでしたが、ここ数年は「親亡き後の生活」についての相談・要望が多くなっている傾向が見られました。

ウ 新型コロナウイルスについて

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により運営において様々な面で制限を余儀せざるを得なくなりました。とりわけ、年末年始においては陽性者 1 名が判明し、いちょうの木の職員、利用者、委託業者 67 名が濃厚接触者となり検査を受けました。幸い全員が陰性と判明しましたが経過観察期間として 2 週間の休所となりました。またその後も、ご本人やその家族が検査を受けるということが少なくなき、感染対策予防の観点から利用を自粛した人は実員 36 名、延べ 393 日で自粛されている利用者には在宅支援を行うことで対応しました。